

第26回インターフェックスジャパン会場レポート

医薬品製造・医療研究分野に

貢献する空調冷熱関連技術②

6月26日～28日の3日間のためのクリーンルームを二から構築する場合、東京ビッグサイトに施設（CPE）をコンパに比べ、省スペースかつて医薬品・化粧品製造展に設置できるよう、短工期の設置となり、初期コストの低減にも貢献「第26回インターフェックスジャパン」が開催された。同展では、医薬品・化粧品の製造に関する最新の技術が集結。医療研究や医薬品製造に係る空調冷熱技術も多数展示された。そのうちのいくつかを紹介する。



ダイダンのブース

ダイダンは再生医療向けクリーンブース「オーリンワンCPユニット」を、導入事例とともに紹介した。同ユニットは、細胞を培養・加工す

「セラボ羽田」での運用の様子もあわせて紹介した。総合衛生管理サービスを展開する赤門ウイレックスは、同社が長年にわたり蓄積してきた空気清浄技術を生かしたクリーンルーム（CR）のト（清掃・防虫管

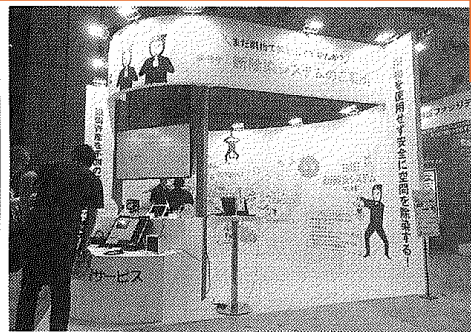


赤門ウイレックスのブース

維持管理に関するソリューションを紹介した。CRの立ち上げに必要な一連のバリデーション（風量測定、フィルタリーク試験、清浄度測定など）から運用開始後の定期点検、緊急対応（フィルタの破損や漏水など）、品質管理に関する各種サポート（清掃・防虫管

理、微生物検査など、各種書類作成のサポートまで、一連のCR管理業務を一括支援している。

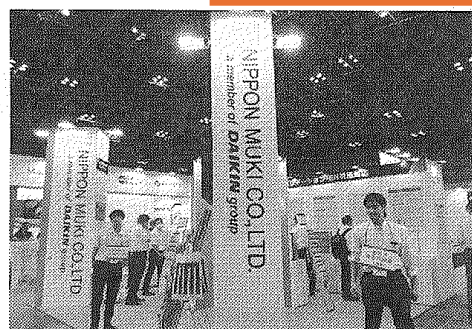
建物設備のメンテナンス・維持管理等の設備サービス業を事業の中核とする日本空調サ



日本空調サービスのブース

7月24日は新聞休刊日です
次週7月24日は新聞休刊日につき発行をお休みさせて頂きます。次号は7月31日付「低温・冷却器特集号」となります。

取得し、実用化に向け開発中の同システムは、工場等の清浄度管理に対応する各種フィルタを展示した。超低圧力損失長寿命HEPAシリーズは、HEPAフィルタの性能はそのままに超低圧力損失を実現し、空調設備等の大幅な省エネに寄与、最大42%の電気代削減効果が認められているという。さらにフィルタの欧州統一規格EN1822に対応した各フィル



日本無機のブース

の影響を少なくできるため、再生医療関係や動物実験の試験室など、生体に関連した施設の除染に特に有効となる。同社は現在、同システムの共同実験先を募っている。

フィルタメーカ